＜校訓＞敬愛 自主 剛健

未来橋

令和5年10月2日発行
高浜町立高浜中学校
Takahama junior high school

日中はまだまだ強い日差しを受けますが、夕方になると涼しい風が吹き、秋らしく過ごしやすい季節になってきました。

今月は衣替えの時期です。近年では、制服の移行時期を一定期間設ける学校が増えてきました。もともと宮中の行事として旧暦4月と10月を「更衣」の日と定め、夏と冬の着物を入れ替える行事がありました。明治時代になり新暦が採用されてからは、6月と10月に設定されたのです。衣替えのとき皆さんが春まで袖を通していた制服が、この時期に短くなっていたり、きついと感じたりしたら、それも成長の証といえるでしょう。中学生の時期は伸び盛りです。一人一人が自分の目標の実現に向けて主体的に取り組み、実り多い秋にしてほしいと願っております。

地域医療・介護特別授業

2年生の生徒を対象に、地域の医療・介護従事者から住民の健康を支える仕組みや仕事内容などを学ぶ「地域医療・介護特別授業」を行いました。特別授業では、医師、薬剤師、看護師、理学療法士、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師、介護福祉士、救急救命士など町内で医療・介護に携わっていただいている方をゲストティーチャーとしてお招きし、町民の健康がどのように支えられているのか、どのような職業の人が町民の健康を支えているのかなど、町民の健康を支える仕組みと関係者の仕事の重要性を学びました。そして、職業ごとに分けられた体験ブースで、医療・介護従事者に仕事内容ややりがいなどを伺ったり、簡単な実習をさせていただいたりしました。この授業を通して、地域を支える医療介護の分野への関心を高めるとともに、将来の職業選択の幅を広げてほしいと考えています。

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

和田 ｄｅ 灯音祭 ～「灯り」と「音」の祭典～

9月23日(土)に「灯り」と「音」の祭典、「灯音祭」が和田公民館で行われました。この祭典は、高浜中学生が総合学習の時間に取り組んでいる「探究学習〈高浜未来創造プラン〉」で、路地祭に代わるイベントとして提案したものです。和田地区の有志のみなさんの力で中学生の立てたプランを実現していただくことになりました。有志の皆さんの地域に対する熱い思いと地元愛、そして中学生に対する温かい愛情と期待を肌で感じています。本当にありがとうございました。

当日の昼の部は、地域で活躍されている方々の音楽やダンスが披露されました。本校の吹奏楽部や地域のクラブで活動しているダンスチームも出演しました。また、1年生と3年生の探究チームも探究学習で取り組んでいる「海洋プラスチックゴミを再利用したランタンシェード作り」の体験ブースで参加をしました。

夜の部は、生徒たちと当日の参加者が制作したランタンシェードや事前に制作した竹灯りなどが点灯されました。神秘的な灯りと音楽で、会場内は幻想的な雰囲気に包まれ、訪れた人の心を癒やしていました。

生徒たちは、来年も今年以上に盛り上げていきたいと意気込んでいます。和田公民館の館長さんをはじめ和田地区の有志の皆さん、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。

若狭地区中体連秋季新人大会

9月29日(金)～10月1日(日)に若狭地区中体連秋季新人大会が開催されました。3年生からバトンを引き継ぎ、新チームとして活動を始めて約2ヶ月、その練習の成果を発揮する大会です。初めての公式戦で思うようにプレーができず、緊張感に押しつぶされそうになったかもしれませんが、選手たちは持てる力を発揮して頑張ってくれました。この大会を通して学んだことを、これからの練習に活かして頑張ってほしいと思います。なお、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、卓球部、ソフトボール部は、10月13日(金)から開催される県大会に出場します。さらなる活躍を期待しています。

男子バスケットボール部 優勝	女子バスケットボール部 優勝
野球部 準優勝	卓球部 個人戦ベスト8入賞

高中祭！最高！　～無限に広がる高中生の可能性～

9月8日（金）と9日（土）の2日間、「高中祭2023」を開催しました。当日まで、生徒たちは、生徒会テーマ「With Smiles～つながる笑顔は無限大～」のもと、笑顔でつながる一体感のある高浜中学校を目指し、全校一丸となって準備を進めてきました。

1日目の文化祭は、生徒会執行部企画「全校生徒出演！一発撮りオープニングムービー」からスタートし、「吹奏楽部演奏」、「色別ブース」、「執行部企画ブース」、「色別劇場」、「装飾（団旗）発表」、「オープン参加ステージ」など新企画満載の充実した行事となりました。

「色別ブース」では、学級ごとに普通教室や特別教室を使って、クオリティの高いブースを制作し、参加者を楽しませてくれました。中学生の豊かな発想と企画力には驚かされます。装飾では、各団の意気込みを感じる力強い巨大団旗（縦4m×横1.5m）を制作し、団員の士気を高めていました。

一昨年から取り組んでいる「色別劇場（ステージパフォーマンス）」では、各色ごとに編成した劇団員が創作劇を披露しました。心に響く最高の舞台を創り上げようと日々の練習に取り組みました。今でも、劇中の感動場面やヒーローやヒロインたちの活躍が目に焼き付いています。そして、オープン参加ステージでは、今年はなんと総勢93人全10組のパフォーマーたちがきれのあるダンスやバンド演奏などで会場を盛り上げてくれました。高中生の持つ底力、無限の可能性を見せてくれた文化祭となりました。豊かな発想で創意工夫したブースの展示内容や盛り上がった色別劇場やオープン参加ステージなどのクオリティの高い舞台発表をそばで見ていて胸が熱くなり感動の連続でした。高中生の確かな成長を実感できる素晴らしい発表でした。

体育祭　～感動と笑顔　高中生の絆～

今年の夏は猛暑の夏。熱中症対策をとりながらの練習や準備は思うように捗らず大変だったと思います。しかし、生徒会執行部や3年生のリーダーを中心に、知恵を絞り、アイデアを出し合い、全校一丸となって取り組んできました。

本番当日まで、体育祭を成功させようとする高中生の姿は随所で光っていました。素敵だったのは、3年生のリーダーシップと企画力。熱中症対策をしながら練習をスムーズに進めていくためにしっかりと練習計画をたて、1・2年生にわかりやすく説明し、工夫を凝らした応援を完成させました。さらに、1・2年生の練習に臨む態度も素晴らしく、集中して3年生の説明を聞き、各団一丸となって応援を短時間で完成させました。

今年の応援合戦は、ダンスパフォーマンスと応援パフォーマンスとのかけ合いや奥行きのある立ち位置、変化のあるフォーメーションなどを工夫し、レベルの高い応援合戦が繰り広げられました。最後の全校ダンスでは、アンコールが沸き起こり、「高中祭！最高！」の連呼。高中生の一体感を感じました。

全力で頑張った1年生、成長ぶりをいかんなく発揮した2年生の素晴らしさ、随所に感動的な場面を見せ、最高学年として全校をしっかりとリードした3年生。一人一人の輝き、全校生徒が笑顔で繋がる最高の思い出として心に刻まれたことと思います。

感動と笑顔でいっぱいにつつまれた高中祭。確かな成長を遂げた高中生。この感動を自信に変えて、新たな目標に向かって挑戦し続けてほしいと考えています。

暑い中、参観していただきました保護者の皆様、ありがとうございました。2学期も引き続いてご支援とご協力を賜りますとともに、挑戦し続ける高中生に温かい声援を送ってくださいますようお願いいたします。